

分野：砂 防

種類：施設台帳

## 砂防設備台帳【帳票1-8-01】

**記載例；砂防堰堤、床固工の場合**

点検時のカルテ番号。事務所が発番。新規登録で点検経過がない時は空欄

設備台帳に記載している整理番号を記載。記載ない又は新規登録の場合は、空白

カルテ番号 11111111

整理番号

事務所名 ○○土木事務所

# 砂防設備台帳個票(1)

砂防指定日

施設名称	○○川堰堤		水系	○○川	河川種別	二級河川	幹川名	○○川	河川名	○○川	渓流名	○○川
所在地	○○郡○○町○○		水系の ・一級河川 ・二級河川 ・普通河川 の別を記載		月日	H○○.○○	告示番号	国告第○○号	土石流危険 渓流番号		○-○-I-○○	
・コンクリート、ISEM、土砂などを記載		・砂防堰堤 ・床固工 の別を記載		・コンクリート、ISEM、土砂などを記載		水通し部の天端幅を記載		渓流が最初に合流する法河川名				
施設種別	砂防堰堤	堤高	○○.○m	堤頂長	○○.○m	堤体Vol	○○○○.○m <sup>3</sup>	天端幅	○.○m	構造形式	重力式	
構造材料	コンクリート	中詰材	コンクリート	流下形態	土石流	流域面積	○.○○km <sup>2</sup>	堰堤形式	透過	管理手法	管理型	
透過部の構造	鋼製スリット、コンクリートスリットなどを記載		摘要		管理用道路L=○○○m W=○.○m		・透過 ・不透過 ・部分透過 の別を記載		水系名頭文字1文字+半角ハイフン+町名2文字+半角ハイフン+ローマ数字(ランク)+半角ハイフン+3桁通し番号(ゼロ埋め)			
有れば構造を記載。無ければ「無」	付帯施設の諸元				・土石流 ・掃流 の別を記載		写真					
付帯施設概要	堰堤・床固めでは記載しない		落差工 h=		L=				副堤、第1落差工を記載 副堤は本堤高15m以上の場合のみ) 落差工は下流流木捕捉工と重複してもよい			
垂直壁	コンクリート	h= ○.○m	取付護岸	ブロック積	h= ○.○m	水叩き	○.○m	・重力式、アーチ式などを記載		・管理型 ・非管理型 の別を記載		
流木	鋼製A型	h= ○.○m	摘要	有れば構造を記載。無ければ「無」		付帯施設で特記事項があれば記載		本堤の水叩き厚を記載		基礎調査を基本に、無ければ危険渓流調査から記載		
災害発生状況												
発生年月日	H○.○.○	発生状況	H○.○.○台風○○号の豪雨により土石流が発生		被害状況	死者行方不明○名、全壊○戸		災害発生状況と保全対象の状況は事務所が記載する。				
保全対象状況												
人家戸数	道路			鉄道		公的施設	官公署	避難所	避難路			
	重要交通網	1次緊急輸送路	2次緊急輸送路	重要交通網	その他路線							
○○戸	国道○○号線	国道○○号線	県道○○線	JR○○線	○○鉄道○○線	○箇所	○箇所	○箇所	○○m			
要援護者施設	○○保育園			土砂災害警戒区域	21000014	土砂災害特別警戒区域	無					
施設名を記載		指定済はY番号 未指定は「未」		未or有or無を記載								



副堤、第1落差工を記載  
副堤は本堤高15m以上の場合のみ)  
落差工は下流流木捕捉工と重複してもよい

・重力式、アーチ式などを記載

・管理型  
・非管理型  
の別を記載

本堤の水叩き厚を記載

災害発生状況と保全対象の状況は事務所が記載する。

本土工全体で特記事項があれば記載

基礎調査を基本に、無ければ危険渓流調査から記載

**記載例；山腹工の場合**

水系の  
・一級河川  
・二級河川  
・普通河川  
の別を記載

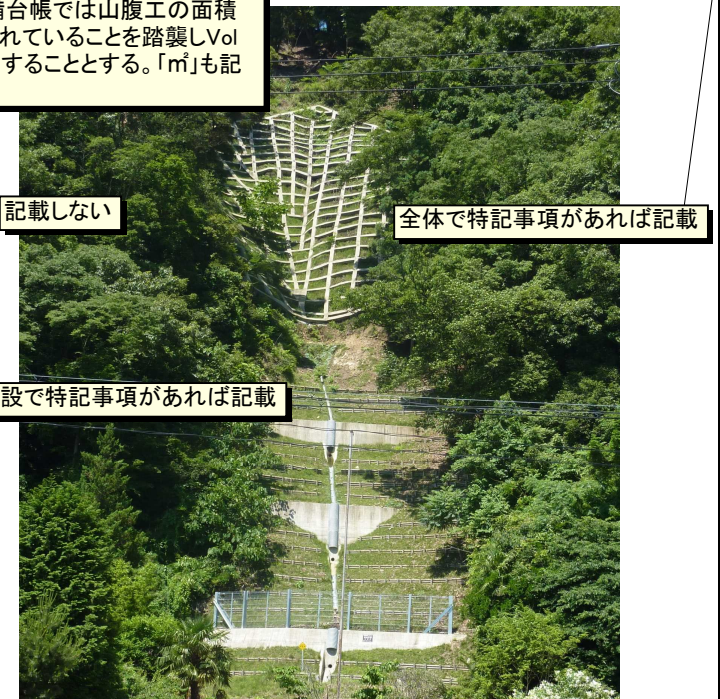
# 砂防設備台帳個票(1)

設備台帳に記載している整理番号を記載。記載ない又は新規登録の場合は、空白

カルテ番号	11111111
整理番号	番号ない場合は、空白

事務所名 ○○土木事務所

施設名称	○○川山腹工	水系	○○川	河川種別	二級河川	幹川名	○○川	河川名	○○川	溪流名	○○川
所在地	○○郡○○町○○			全体延長を記載	指定年月日	H○○.○○		告示番号	国告第○○号	土石流危険 渓流番号	○-○-I○○
代表的な工種に使用した材料 (木材、コンクリートなど)を記載		代表工種の高さを記載		本体構造の諸元				記載しない	代表的な工種 (谷止工、土留工、水路工など)を記載		
施設種別	山腹工	堤高	○.○m	堤頂長	○○○.○m	堤体Vol	○○.○m <sup>2</sup>	天端幅		構造形式	土留工
構造材料	木材	中詰材	土砂	流下形態		流域面積	○.○○km <sup>2</sup>	堰堤形式		管理手法	
透過部の構造	あれば記載、なければ空白	記載しない	摘要	記載しない	記載しない	記載しない	記載しない	記載しない	記載しない	記載しない	記載しない
付帯施設の諸元											
付帯施設概要	水路工○m、積苗工○m		副ダム	h=	L=	従来の砂防設備台帳では山腹工の面積が「V」で記載されていることを踏襲しVol欄に面積を記載することとする。「m」も記載のこと。					
垂直壁	h=	m	取付護岸	h=	m	水叩き					
流木補捉工	記載しない	h=	m	摘要	代表的工種以外であれば、概要を記載		記載しない				
災害発生状況											
発生年月日	H○.○.○	発生状況	H○.○.○台風○○号の豪雨により土石流が発生			被害状況	死者行方不明○名、全壊○戸				
保全対象状況											
人家戸数	道路			鉄道		公的施設	官公署	避難所	避難路		
	重要交通網	1次緊急輸送路	2次緊急輸送路	重要交通網	その他路線						
要援護者施設	施設名を記載			土砂災害警戒区域	21000014	土砂災害特別警戒区域	無				
				指定済はY番号 未指定は「未」	未or有or無						



記載しない

全体で特記事項があれば記載

付帯施設で特記事項があれば記載

**記載例；流路工の場合**

事務所名 ○○土木事務所

水系の  
・一級河川  
・二級河川  
・普通河川  
の別を記載

# 砂防設備台帳個票(1)

設備台帳に記載している整理番号を記載。記載ない又は新規登録の場合は、空白

カルテ番号	11111111
整理番号	

施設名称	○○川流路工	水系	○○川	河川種別	二級河川	幹川名	○○川	河川名	○○川	溪流名	番号ない場合は、空白
所在地	○○郡○○町○○			全体延長を記載	指定年月日	H○○.○○	告示番号	国告第○○号	土石流危険溪流番号	○-○-1○○	
代表的な構造材料 (ブロック、コンクリートなど)を記載		代表的な護岸高さを記載		本体構造の諸元				記載しない			
施設種別	流路工	堤高	○.○m	堤頂長	○○○.○m	堤体Vol	記載しない	天端幅		構造形式	ブロック積
構造材料	ブロック	中詰材	記載しない	流下形態		流域面積	○.○○km <sup>2</sup>	堰堤形式	2面張	管理手法	
透過部の構造	記載しない	摘要	記載しない	記載しない							
流路工中の構造物の概要について記載		付帯施設の諸元				記載しない					
付帯施設概要		落差工○基、帯工○基	副ダム	h=	L=						
垂直壁	記載しない	h=	m	取付護岸	記載しない	h=	m	水叩き			
流木補捉工	記載しない	h=	m	摘要	付帯施設で特記事項があれば記載						
災害発生状況											
発生年月日	H○.○.○	発生状況	H○.○.○台風○○号の豪雨により土石流が発生			被害状況	死者行方不明○名、全壊○戸				
保全対象状況											
人家戸数	道路			鉄道		公的施設	官公署	避難所	避難路		
	重要交通網	1次緊急輸送路	2次緊急輸送路	重要交通網	その他路線						
要援護者施設				土砂災害警戒区域	21000014	土砂災害特別警戒区域	無				
施設名を記載		指定済はY番号 未指定は「未」			未or有or無を記載						

写真

・2面張  
・3面張  
の別を記載

代表的な構造形式  
(ブロック積、コンクリート擁壁など)を記載



記載しない

全体で特記事項があれば記載

分野：砂 防

種類：施設台帳

## 急傾斜地崩壊危険区域台帳【帳票1-8-02】

事務所名 ○○土木事務所

県公報掲載の区域名を記載

告示番号（県公報掲載の告示番号）を記載

指定年月日（県公報への掲載日）を記載



点検カルテの番号を記載（新規登録の場合は空欄）

【帳票1-8-02】

# 急傾斜地崩壊危険区域台帳

危険区域台帳に記載の番号を記載（新規登録の場合は空欄）

カルテ番号	
整理番号	

急傾斜地崩壊危険区域の名称		○○ 地区										指定年月日 令和○年○月○日		追加指定した場合はその都度追記する		急傾斜地崩壊危険箇所調査の調査番号等		土砂災害（特別）警戒区域の番号を記載			
所在地		○○市○○町○○1丁目○○										急傾斜地概況調書（区域指定図書）に記載の所在地を記載		告示番号 県告示第○○号							
指定及び追加指定年月日	急傾斜地崩壊危険区域の概要													想定被害区域の概要							
	指定面積			人工がけ自然がけの別	高さ	延長	勾配	オーバーハングの有無	表土の状況及びその厚さ	基岩の状況	湧水の有無	地被物の状況	崩壊実績	その他	住宅		公共的建物	その他の建物	公共施設	その他	
崩壊危険区域	誘発助長区域	計	一戸建												アパート等						
令和○年○月○日	(ha) 5.1	(ha) 0.5	(ha) 5.60	自然がけ	最高 平均 50.0	(m) 95.0	(度) 最高 平均 39.0	無	A	花崗岩	無	針広混交	有		(戸) 21	(戸)	○○公民館		○○中学校		
指定年月日（県公報への掲載日）を記載	急傾斜地概況調書（区域指定図書）などを基に記載													区域指定平面図を基に記載							
災害発生状況															標柱及び標識の設置等に関する事項						
発生年月日	人的被害		住宅被害			被災世帯数	住宅以外の建物、施設等の被害	急傾斜地の崩壊状況			災害原因				標識等位置図	標識					
	死者 行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部破損			延長	高さ	土量	気象等の名称	観測所	気象等の状況（雨量、震度等）								
昭和○年○月○日	(人)	(人)	(戸)	(戸)	(戸)			(m)	(m)	(㎡)	台風○○号	○○	24時間○ミリ、時間最大○ミリ								
	当該区域内で発生した災害について記載（区域指定前に発生した災害がある場合は、その災害についても記載）													標柱の写真を添付							
区域指定平面図等を基に記載										保全対象の状況					他法令による指定区域等との重複関係						
換算人家戸数	道路			鉄道			公的施設	官公署	砂防指定地「○○○○○」(SO.○.○)と一部重複												
	重要交通網	1次緊急輸送路	2次緊急輸送路	重要交通網	その他路線	区域内に他法令による指定区域がある場合は記載															
○戸	国道○号	県道○○線	無	JR○○線	無	○○中学校	○○消防署	他事業、住宅移転等の実施状況													
災害時要援護者施設		○○施設		避難所		○○小学校		避難路		砂防事業（山腹工（法枠A=○○m2））											
土砂災害警戒区域		101080069			土砂災害特別警戒区域		未指定				区域内において他事業や住宅移転等が実施されている場合はその内容を記載										

# 急傾斜地崩壊危険区域土地調書

整理番号	
区域名	〇〇

様式-1と同じ

町・区	大字	字	地番
〇〇町	〇〇	〇〇	134-5、135、137、139-2
	〇〇	〇〇	30、32、34-1、35-2
〇〇町	〇〇	〇〇	30、32、34-1、35-2
			<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     県公報掲載の住所を地番まで全て記載                 </div>

摘要	
----	--







# 急傾斜地崩壊防止工事台帳

		整理番号		区域名		○○									
施工年度	全体計画	RO年度 県単 事業	RO年度 公共 事業	RO年度 公共 事業	RO年度 公共 事業	RO年度 公共 事業	RO年度 公共 事業								
事業費	千円 153,176	千円 2,441	千円 6,336	千円 2,079	千円 118,981	千円 23,339	千円								
工事費	本工事費	千円 142,320	千円	千円	千円	千円 118,981	千円 23,339								
	付帯工事費	千円	千円	千円	千円	千円	千円								
	測量及び試験費	千円 10,886	千円 2,441	千円 6,366	千円 2,079	千円	千円	千円							
	用地費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円							
	補償費	千円	千円	事業の全体計画及び年度毎の事業内容について記載		千円	千円	千円							
	事務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円							
受益者負担率	%	%	%	%	%	%	%								
施工業者名		(株)○○測量	(株)○○設計	(株)○○測量	(株)○○建設	(株)○○建設	(株)○○建設								
竣工年月日		令和○年○月○日	令和○年○月○日	令和○年○月○日	令和○年○月○日	令和○年○月○日	令和○年○月○日								
保全人家戸数	戸	戸	戸	戸	16	5	戸								
施工延長	m	m	m	m	50.0	45.0	m								
崩壊防止施設	施設名	m	m <sup>2</sup>	施設名	m	m <sup>2</sup>	施設名	m	m <sup>2</sup>	施設名	m	m <sup>2</sup>	施設名	m	m <sup>2</sup>
	重力式擁壁1												1号擁壁 H=2.5m	17	
	重力式擁壁2												2号擁壁 H=4.0m	28	
	重力式擁壁3														
	もたれ式擁壁1														
	もたれ式擁壁2														
	法枠1									300×300		####			
	法枠2														
	落石防護柵1												落石防護柵 H=2.0m	45	
	落石防護柵2														
グラウンドアンカー工	本			本			本			本	PCより鋼 φ26m/m	50	本		
その他1											鉄筋挿入工D19(2~5m)	478	本		
その他2															
備考		測量業務委託 地形測量 3.0万m2等			調査・設計業務委託 詳細設計 1式(法枠&擁壁) 土質調査 4箇所			用地測量業務委託 用地測量 0.89万m2等							

分野：砂 防

種類：施設台帳

## 地すべり防止区域台帳【帳票1-8-03】

様式-1

指定年月日（官報への掲載日）及び告示番号（官報掲載の告示番号）を記載

事務所名 ○○土木事務所

官報掲載の区域名を記載

# 地すべり防止区域台帳

点検カルテの番号を記載（新規登録の場合は空欄）

【帳票1-8-03】

カルテ番号	
整理番号	

地すべり防止区域の名称		○○		地区	所在地			○○市○○町○○		防止区域台帳に記載の番号を記載（新規登録の場合は空欄）					
告示		令和○年○月○日		国告第801号		危険箇所番号		土砂災害（特別）警戒区域の番号を記載							
地すべり防止区域の面積		7.58		ha		河川への影響									
地すべり防止区域等の概要	区分	土地				人家		公共施設等							
		田 (ha)	畑 (ha)	林地 (ha)	宅地 (ha)	その他 (ha)	家屋 (戸)	その他 (戸)	道路 鉄道(m)	河川 (m)	官公署 学校病院 神社仏閣	その他			
	防地すべり区域内	地すべり区域	0.2		4.8		0.31	11			準用河川300m				
		隣接区域		0.19	1.39		0.69	5							
	区域外	被害区域					0.45			県道250m, 私鉄250					
	計		0.2	0.19	6.19		1.45	16							
地すべり状況		現在の滑動状況		過去の滑動状況		地すべりの深度		地すべりの傾斜		地質その他参考事項					
		滑動中		S.60年 家屋・河川が被災		10m		10~20 (°)		神戸層群, 凝灰岩・礫岩					
他法律との重複関係		砂防指定地「○○○○○」（S○○.○.○）と一部重複						区域内に他法令による指定区域がある場合は記載							
災害発生の状況	発生年月日	異常気象名	死者 (名)	負傷者 (名)	全壊家屋 (戸)	半壊家屋 (戸)	一部破損 (戸)	移動状況		降雨量			観測所名	備考	
								高さ (m)	幅 (m)	長さ (m)	土量 (m <sup>3</sup> )	連続雨量	最大日雨量	最大時間雨量	
	令和○年○月○日	梅雨前線による豪雨			2			70.0	150.0	50,000	180mm	200mm	55mm	○○	
	当該区域内で発生した災害について記載														

# 地すべり防止区域台帳

整理番号	
区域名	〇〇

地すべり防止施設									
位置 (ブロック)	種類	名称	管理者名	所有者名	構造	数量	竣工年月日	砂防指定地又は保安 林若しくは保安施設地 区の内外の別	摘要
Aブロック	集水井工	1号集水井	兵庫県	兵庫県	φ 3.5m, H=10.0m	1基	令和〇年〇月〇日	内	
Bブロック	法枠工		〃	〃			令和〇年〇月〇日	内	
〃	アンカー工		〃	〃	L=18.5m, φ 32m/m		令和〇年〇月〇日	内	
〃	水路工		〃	〃		29m	令和〇年〇月〇日	外	
〃	アンカー工		〃	〃	L=13.0~19.5m, φ 32m/m	35本	令和〇年〇月〇日	外	
Cブロック	法枠工		〃	〃	L=39.0m, A=456m <sup>2</sup>		令和〇年〇月〇日	外	
〃	集水ボーリング		〃	〃			令和〇年〇月〇日	外	
〃	アンカー工		〃	〃	L=24m, φ 32m/m	68本	令和〇年〇月〇日	外	
〃	集水ボーリング		〃	〃	φ 66m/m, ΣL=685.0m		令和〇年〇月〇日	内	
〃	アンカー工		〃	〃	L=12.5~19.9m, φ 26m/m	32本	令和〇年〇月〇日	内	
複数の地すべりブロックがある場合は、当該施設が存する地すべりブロックの名称を記載	工種名を記載	同一の工種が複数ある場合で、施設に名称をつけている場合は記載						砂防指定地又は保安林若しくは保安施設地区内の場合は「内」その他の場合は「外」と記載	

# 地すべり防止区域土地調書

【標柱番号】

整理番号	
区域名	〇〇

町・区	大字	字	地番
〇〇町	〇〇	〇〇	1-1, 2-1, 3, 7-1, 8, 8-1, 8-2, 8-3, 9-1, 9-2, 9-3
		〇〇	1-13, 2-2, 2-4, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11, 2-12, 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-8, 3-9
			区域内に存する土地を地番まで記載
摘要			

告示文	【標柱番号】			
	町・区	大字	字	地番
官報登載の告示文を転記				
標柱番号	町・区	大字	字	地番
1	〇〇町	〇〇	〇〇	9-1
2	〇〇町	〇〇	〇〇	3-8
3	〇〇町	〇〇	〇〇	3-5
4	〇〇町	〇〇	〇〇	3-5
5	〇〇			
6	〇〇			
7	〇〇町	〇〇	〇〇	1-13
8	〇〇町	〇〇	〇〇	2-7
9	〇〇町	〇〇	〇〇	2-7
10	〇〇町	〇〇	〇〇	2-2
摘要				

区域内に存する土地を地番まで記載

官報登載の告示文を転記

上記告示文にある標柱が存する土地について、標柱番号順に地番まで記載

# 地すべり防止工事台帳

整理番号																					
区域名		〇〇																			
施 工 年 度		全 体 計 画			R〇 年度 県単 事業			R〇 年度 公共 事業			R〇 年度 公共 事業			R〇 年度 公共 事業							
事 業 費		千円 129,837			千円 2,441			千円 6,336			千円 2,079			千円 118,981			千円				
工 事 費	本 工 事 費	千円 118,981			千円			千円			千円			千円 118,981			千円				
	附 帯 工 事 費	千円			千円			千円			千円			千円			千円				
	測 量 及 び 試 験 費	千円 10,886			千円 2,441			千円 6,366			千円 2,079			千円			千円				
	用 地 費	千円			千円			千円			千円			千円			千円				
	補 償 費	千円			年度毎の事業内容を記載														千円		
	事 務 費	千円			千円			千円			千円			千円			千円				
受 益 者 負 担 率		%			%			%			%			%			%				
施 工 業 者 名					(株) 〇〇測量			(株) 〇〇設計			(株) 〇〇測量			(株) 〇〇建設							
竣 工 年 月 日					令和〇年〇月〇日			令和〇年〇月〇日			令和〇年〇月〇日			令和〇年〇月〇日							
保 全 人 家 戸 数		戸			戸			戸			戸			戸 16			戸				
施 工 延 長		m			m			m			m			m			m				
地 す べ り 防 止 施 設	施設名	数量	単位	施設名	数量	単位	施設名	数量	単位	施設名	数量	単位	施設名	数量	単位	施設名	数量	単位			
	集水ボーリング1		本		本		本		本	φ 66m/m, L=685m	10	本			本			本			
	集水ボーリング2		本		本		本		本			本			本			本			
	集水井		基		基		基		基			基			基			基			
	杭工1		本		本		本		本			本			本			本			
	杭工2		本		本		本		本			本			本			本			
	法枠1		m2		m2		m2		m2	特殊法枠工L=39m, A=468m2	12	m2			m2			m2			
	法枠2		m2		m2		m2		m2			m2			m2			m2			
	擁壁工1		m		m		m		m			m			m			m			
	擁壁工2		m		m		m		m			m			m			m			
	アンカー工		本		本		本		本	φ 32m/m, L=24m	12	本			本			本			
	その他1																				
その他2																					
備 考					地すべり調査 〇〇調査 1式等			調査・設計業務委託 詳細設計 1式 ボーリング調査 4箇所			用地測量業務委託 用地測量 0.89万m2等										

